

労災ケア通信

第59号
平成29年5月15日
発行：一般財団法人
労災サポートセンター
〒102-0073
東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル10F
TEL 03-6834-2510(代表)
FAX 03-6834-2530
ホームページアドレス
<http://www.rousaisc.or.jp>



介護サービスの質の 更なる改善を目指して

『平成29年度事業計画の重点対策』

『はじめに』

3月24日に開催された理事会において、本年度の事業を決定しましたので、ケアプラザに関する重点対策についてお知らせします。

当財団は、この事業計画に基づき、それぞれの傷病・障害の特性に応じた専門的な介護サービスを提供するとともに安心していきいきとした生活が営めるよう努めてまいります。

(1) 基本的事項への取り組み

① 「入居者の傷病・障害及び健康の 状態に応じた介護サービスの提供」

入居者等の意見や希望を踏まえた介護計画の目標の実現を目指し、入居者

の傷病・障害及び健康の状態に応じた適切な介護サービスの提供に努めます。

このため、各介護施設においては、入居者の傷病・障害の特性に応じた専門的な介護サービスに関する知識・ノウハウなどを取りまとめた「労災特別介護施設介護手引」(以下「介護手引」といふ)を基に本事業を実施することとしますが、これにとどまらず、今後も新たな介護技術及び介護機器に関する情報を収集するなど、最新の知見を踏まえた介護サービスの提供に努めます。

② 入居者の健康管理

入居者は、せき髄損傷・頭部外傷等による傷病・障害に加え、加齢による

疾病等もあって、医療ニーズが高いことから、労災病院及び近隣医療機関の医師を医療コンサルタントとして委嘱して介護施設内で入居者の健康管理や健康相談を行うほか、通院時には看護職員が同行し、介護施設のマイクログラスで送迎するなどの確に対応します。また、入居者の健康状態の急変時等には、介護施設内で応急処置等を行い、救急搬送をするなど迅速、適切に対応します。

③ 機能維持訓練

残存機能維持のための訓練が必要であると認められた入居者については、そのニーズに応じた療法を実施します。また、義肢、収尿器等の補助具の着脱使用方法等の訓練、指導及び車椅子、補助具等の点検整備を実施します。

④ 生活支援の充実

入居者の金品、貴重品の管理や労災保険その他公的機関への手続きの支援を的確に行います。また、入居者の自主的なクラブ活動の支援、四季折々の季節にちなんだ行事を開催するなどにより入居者の生活の質の改善・向上に努めます。

⑤ 苦情等への対応

入居者から苦情等(意見、異議等を含む)の申し出があった場合には、「苦情解決委員会」等において、迅速かつ適切に対応し、速やかな解決・改善に努めます。

(2) その他の事項への取り組み

その他、次の事項について取り組むこととしております。

- ① 研修等を通じた人材の育成
- ② 新規採用職員に係る研修の実施
- ③ 介護に関する研究の実施
- ④ 地域との連携
- ⑤ 防災への取り組み
- ⑥ 防犯対策の取り組み

安全と安心の介護を目指して

『消防訓練(講話)』

熊本労災特別介護施設

介護課 瀬戸口 芙貴

去る2月8日に地元の宇城消防署職員による消防訓練(講話)が行われました。

講話の内容は、昨年の熊本地震を考慮し「震災・防災の対策」でした。参加した入居者の皆さまは講話を真剣に聞き入り、体験を踏まえて十分に理解されたと思います。

今後、同じような震災・災害が無いとは言えません。今回の消防訓練(講話)は本当に充実した内容だったと思います。



真剣に聴く入所者の皆さん

『全体意見交換会』

ケアプラザ新居浜

介護課 三宅 一彰

昨年開催された介護士本部研修で自分のできる事について考えていると、愛媛施設では全体での会議を行っているないことに気づき、委託業者も含めた施設の関連職種全体での話し合いをする会を開催することを企画しました。

3月1日に第1回目の会を開催しましたが、参加者からは施設をより良くしていこうと様々な意見が出て、とても充実した会になりました。今後も継続して開催し、気軽に意見が言い合える職場作りに努めていきたいと思えます。



施設をより良くするため真剣に意見を出し合う参加者の皆さん

ケアプラザだより

『河尻神宮初詣』

熊本労災特別介護施設

総務課 木村 真紀

新年早々の1月4日、年初行事として恒例となった河尻神宮への初詣に入



『スポーツ大会』

熊本労災特別介護施設

介護課 吉仲 聡子

去る1月25日に恒例のスポーツ大会をコミュニティホールにて開催しました。ソフトバレーボールを実施しましたが、普段穏やかな表情が、プレー中には凄まじい集中力を発揮、普段と全く違う迫力ある表情には驚かされました。ゲーム終了後は大変満足された表情だったので印象的でした。



神宮前で記念撮影

居者の皆様と参加させて頂きました。神宮は多くの参拝客が訪れており、入居者の皆様も参拝後はお守りや破魔矢などを購入し、おみくじや甘酒を楽しむ事が出来たと思います。今年も素晴らしい年でありますように、心から祈念したいと思います。

『昼食バイキング』

ケアプラザ岩見沢 総務課

2月22日(水)、2月の誕生会行事と合わせ「昼食バイキング」が実施されました。

年に一度、給食委託業者(魚国)の協力のもと、腕によりをかけた料理がたくさん並びます。

当日はボランティアさんの手も借り、入居者の皆さんは一品ずつ品定めしながら、自分の好きな料理をたくさん器に盛って、ゆったりと食事を楽しめました。



ソフトバレーボールを楽しむ皆さん

これからも入居者の皆さまには積極的に参加して頂き、思い切って楽しんで頂きたいと思えます。



おすすめ料理



好きな料理を選ぶ入居者さん

ケアプラザでは、手作りひな人形や季節の花展等々を開催させて頂いております。



作品展の準備風景

誰でも美しい自然や芸術に出会うと心が癒され、元気になるという経験があると思います。私たちはそうした自然や芸術のもつ「美の力」が人間の感性を高めるということに着目し、美を心から楽しむひとときを生活に取り入れることで、心身の健康を回復させていくこととする健康法で活動しています。

『美を楽しむ健康法の一つとして』

ケアプラザ岩見沢
ボランティア
光輪花クラブ一同

これからも美を楽しむ健康法の一つとして光輪花クラブの活動を展開させて頂きますので、ケアプラザ職員の皆様、入居者の皆様、今後とも宜しくお願い致します。



鑑賞する入居者さん

『節分豆まき』

ケアプラザ岩見沢 総務課

2月1日(水)、節分行事として「豆まき」を行いました。毎年、年男年女が壇上にあがり、豆を撒いて福を呼び込みます。

北海道では大豆を撒く習慣がなく、落花生を使うのが特徴的で、チョコレートや飴などのお菓子も一緒に混ぜて撒くため、楽しみにされている方も多いためです。

今年も参加した方たちの袋はどれも一杯になっていました。



壇上から豆を撒く入居者さん



会場の様子

『春のミニ旅行』

ケアプラザ富谷 総務課

「桜を見て、春を感じましょう」という企画で、4月19日春のミニ旅行が実施されました。

行き先は、富谷市の隣に位置する大和町の南川ダム周辺です。当日はやや風が強いものの、満開のさくらの前で過ごす一時に、参加した入居者さんは、自然に笑顔となりました。

帰りは、毎日施設から眺めている七ツ森周辺のドライブを楽しみ、施設近くの富谷市役所の桜並木を経由し、春を感じるミニ旅行を楽しんできました。



桜の前で記念撮影

『介護福祉用品内覧会』

ケアプラザ富谷 総務課

2月1日、施設内多目的ホールにて、介護福祉業者さんによる介護用品内覧会が開催されました。入居者さんの普段の福祉用品の購入は、カタログを見ての注文となり、実物の福祉用品を手に取り試す機会がないため、当日

は、業者さんに様々な質問で品定めをし、注文していました。

昨年度実施した時は、靴の注文が多かったようですが、今回はスポンジ付きのスプーンや箸などの自助具の注文が多いようでした。また、新型車いすやエアーマットの説明に多数の入居者さんが興味をもって聴いていました。



介護福祉用品内覧会の様子

『観桜会』

ケアプラザ新居浜

総務課・介護課

平成29年の観桜会は4月5日に行われました。今年は、午前中に近くの黒島海浜公園にマイクロバスで出かけ、桜見物を行いました。

生憎ソメイヨシノは二分咲きほどでしたが、陽光桜は満開で、参加者たちは楽しそうに春の季節を満喫していました。午後からは、玄関ホールでカラオケ大会を開催し、入居者のみなさんは順番に得意の喉を披露しました。

また、コーヒータンや甘酒なども振舞われ、笑顔あふれる賑やかなひと時となりました。



満開の陽光桜をバックに記念写真



満開の陽光桜をバックに記念写真



順番に自慢の歌声を披露する参加の皆さん

『まもなく20年』

ケアプラザ堺

介護課 永吉 輝幸

ケアプラザ堺は、来年の7月で20年目を迎えます。

当初は、手が届きそうな高さだったケアプラザ堺の表通りの桜の木々も、立派な桜並木に成長しました。

今では桜の花が咲く季節になると、道行く人達が立ち止り、スマホで写真を撮る姿を見かけられるようになりました。



成長した桜並木

『花見会』

ケアプラザ堺

介護課 東野 克子

寒暖定まらぬ3月29日、敷地内の桜の開花も待たずしてのお花見会となりました。

甘酒やグリーンティー等の飲み物に加え、お茶菓子も振舞われ、春の到来に胸躍らせる日となりました。

『作品展』

ケアプラザ堺

介護課 野末 輝代

春一番の行事である作品展が、お雛祭りに合わせて開催されました。日頃、入居者様が制作に励んでおられる作品が個性豊かに並べられ、お雛祭りに華やかさを添えていました。



展示された作品



飲み物を楽しむ入居者の皆さん

『花見』

ケアプラザ瀬戸 総務課

平成29年4月5日(水)施設近くの東谷山フルーツパークへ花見に出かけました。

今年は例年より開花が遅く桜は三部咲き位でしたが、参加された入居者の方は花の香りが漂う空気をいっぱい吸い、また、園内には大道芸や猿回しも公演していたので芸を見学し、いつもとは違う雰囲気を味わい楽しいひと時を過ごしました。



参加された皆さん

『お花見会』

ケアプラザ呉 総務課

今年の「お花見会」は4月5日に予定しておりましたが、例年と比べ気温が低いせいか、一分程度しか咲いていませんでした。また、当日は雨が降っ

ていたこともあり、中止とし一週間後に延期となりました。それから一週間後の4月12日に曇り空でしたが無事に開催することが出来ました。

待ちに待った開催とあり、多くの入居者が参加されました。参加者はお茶やコーヒーを飲みながら、今年のお花見会を優雅に堪能されていきました。



参加された皆さん

『お花見会』

ケアプラザ四街道

総務課長 井上 真一

4月5日(水)正午から1時間食堂にて、当施設恒例の「お花見会」を開催しました。

今年は、全国的に桜の開花が遅れ、当施設の桜もご多分に漏れず3分咲き程度の少し淋しい状況ではありましたが、「琴の会(メンバー7名)のボラン

テイアによる琴の演奏があり、入居者64名が昼食を摂りながら、琴によるさくら さくら、早春賦」等7曲が演奏されました。

入居者は、やさしい琴の音に癒され、また、知っている曲に合わせて□ずさみ、穏やかな時間が過ぎて、「お花見会」は盛会の内に終了しました。



琴を聴きながら食事する入居者の皆さん

『大盛況のカラオケ大会』

ケアプラザ呉 総務課

毎年、ケアプラザ呉で恒例となっているカラオケ大会を去る2月15日に開催しました。

今年、昨年を上回る13名の入居者がエントリーされ、日頃の練習の成果を発表されました。

今年度仲間入りした職員による歌や、いつも買物ツアーでお世話になっ

ているボランティアサークル「ここにこ」、委託業者の方の参加もあり、会場は大いに盛り上がりました。大会後、早くも来年の大会に向けて毎日練習に励んでいる入居者の姿も見られ、早くも来年の大会が待ち遠しいです。



よく歌いよく笑いました

『ボランティアのよろこび』

外出介助ボランティアサークル

「ここにこ」 光本 照子

私が外出介助ボランティア「ここにこ」の一員としてケアプラザ呉の買物

ツアーのお手伝いを始めたのは、もう15年も前になります。(若かったな) その間、多くの方々とお会いしました。初めての買物ツアーで出会ったSさんの言葉が忘れられません。「こんな体になったけど、あなたに会って買

い物が出来ること、生きとってよかつた」そのひとことで、ますますボランティアのやりがいに見えました。

私たちのボランティアサークル「ここにこ」の合言葉「楽しくなければボランティア」をモットーに、ケアプラザ呉の入居者さんと買物ツアーを楽しませていただいております。

職員方の気配り、施設長や担当課長さんには毎回あたたかい言葉をかけてくださり、私たちもケアプラザの皆様が元気をもらい、これからも楽しくボランティアを続けていけそうです。



ボランティアの方と買い物する入居者さん

入居者だより

『北海道施設に入居して』

ケアプラザ岩見沢

入居者 高野 和夫

私は宮城県角田市の出身で、怪我をしてからは病院生活でした。

退院後の場所として、宮城施設を希望しましたが空きがなく、北海道施設に入居を決めました。

一度も来たことがない土地で生活することに不安もありましたが、来てみると施設は大きく、部屋は個室で、食事のメニューは色々あり、とても満足しています。

入居して間もなく2年になります。これからもリハビリや行事への参加で、充実した毎を送りたいです。



「人生ゲーム」を楽しむ高野さん(中央)